現代文： 読解記述問題の解き方（復習）

ポイント
- 選択肢の問題も記述も問題も、基本は「根拠の文の抜き出し」
- そのためにはまず、読み返しの「範囲決め」をきちんとすること
- 込み入った記述は「部品の数え上げ」＝下書きをすること
- 部分点を確保するために、記述部品の間を「、」で区切っておくこと

論説文の印つけ
- 具体例などを筆者のことばで言い替えた部分に「○」印
- 筆者の考えを筆者のことばで言い換えた部分に「○」印
- 話題が切り替わる部分に「｜」印

物語文の印つけ
- 登場人物のひとがら・性格が表れている部分に「◎」印
- 登場人物の思い・気持が表れている部分に「○」印
- 登場人物の「出入り」「気づき」、事件などの部分に「★」印
- 時間や場面が切り替わる部分に「｜」印

→ この2つを「場面の区切り」と考える。

- 登場人物の「心の中の会話」の部分を「↱」「↰」で囲んでおく。

論説文の設問の解き方
- 設問部（傍線部）の文全体を読み直して、読み返しの「範囲決め」をする。「↱」「↰」で囲んでおく。
- 「～とはどういうことか」という設問は「言い替え」の問題。
- 根拠の文の探し方は2つ。

【パターン①】 ・・・ 設問＋設問部にヒントがある場合、課題文中に似た意味の語句を探す。
・ 筆者は「～」について、どこから見出せると言っていますか。 → 「見出せる」を探す
・ 筆者は「～」について、どうすることが必要だと述べていますか。 → 「必要だ」を探す

【パターン②】 ・・・ 設問部やその前後に「指示語」や「接続語」がある場合、設問部から前へ。
・ 「こうした戦略」→「そのような戦略」→「この戦略」→「～という戦略」 ＝ 探し出す文

物語文の設問の解き方
- 「～について説明しなさい」という設問は「要約」の問題。できるだけ本文中の語句を使って要約する。
- 根拠の文の探し方は2つ。

【パターン①】 キャッチボールのパターン ・・・ まわりとのやり取りの範囲で、根拠の文を探す。
【パターン②】 心の中の会話のパターン ・・・ あらかじめ囲んでおいた「↱」「↰」の範囲を探す。

- 心情を問う設問、理由を問う設問には、「心情語」を補うことを忘れないこと。
- 記述部品は、「問いをくり返す」ことで拾っていく。いちばん大事なことを、いちばん最後にもってくること。

「自分をうとましく思う気持ち」 → なぜ自分がうとましいのか？・・・ なぜ？・・・ なぜ？
「いつどこゲーム方式」 → いつ、どこで、だれが、だれに、なにを、どうした？